

禁止行為の解除承認申請について

舞台での火気の使用は原則禁止されていますが、消防署から禁止行為の解除基準を満たしていると判断された場合には、必要最小限での火気の使用が認められています。

スモークマシン(油性)・裸火などを使用する場合には、事前にご利用者様から消防署へ「禁止行為の解除承認申請書(一式)」を提出し、許可をもらう必要があります。

提出書類 (正副2部作成)

	↓チェック欄
① 禁止行為の解除申請書	<input type="checkbox"/>
② 申請内容明細書	<input type="checkbox"/>
③ 会場管理計画書(江戸川区総合文化センター様式)	<input type="checkbox"/>
④ 避難経路図・人員配置図	<input type="checkbox"/>
⑤ 舞台図面(スモークマシンの設置場所の確認)	<input type="checkbox"/>
⑥ 進行表(スモークマシンの使用時間の確認)	<input type="checkbox"/>
⑦ スモークマシンの明細図	<input type="checkbox"/>
⑧ 公演等の概要・チラシ	<input type="checkbox"/>

※①～④までは当館の用意する書式を使用してください。HP でダウンロードが可能です。

(トップページ→「施設案内」→「各種資料ダウンロード」)

※⑤は当館の書式を使用するか、お客様ご自身でご用意ください。

※⑥～⑨まではお客様ご自身でご用意ください。

手順

原則として公演の2週間前までに、禁止行為の解除申請が必要である旨を管理事務所までお知らせください。

文化センターへ提出

書類に必要事項をご記入の上、正副2部を管理事務所までご提出ください。内容を確認し、書類①「禁止行為の解除申請書」に押印いたします。

江戸川消防署へ提出

…**原則として公演の1週間前までに**

押印後の書類(正副2部)を「江戸川消防署 予防課 3656-0119」へご提出ください。

消防署の許可

申請書が受理されると、江戸川消防署から連絡があります。連絡後に、書類(副1部)を江戸川消防署へ取りに行き、**公演当日までに**文化センター管理事務所までご提出ください。(正1部は消防署の保管となります。)

以上

問合わせ 江戸川区総合文化センター
TEL:03-3652-1111 (代表)

禁止行為の解除承認申請書

年 月 日

東京消防庁

消防署長 殿

申請者

住 所 東京都江戸川区中央4-14-1

電話 (3652) 1111

氏 名 江戸川区総合文化センター

館長 浜本 和男 印

火災予防条例第23 条第1 項の規定による指定場所における禁止行為について、解除の承認を受けたいので下記により申請します。

防 火 対 象 物	所 在 地	東京都江戸川区中央4丁目14番1号 電話 (3652) 1111		
	名 称	江戸川区総合文化センター	用途	ホール
	関係者住所	同 上		
	氏 名	江戸川区総合文化センター 館長 浜本和男		
解除の承認 を受けよう とする場所	階	1階	階 の 用 途	ホール
	名 称	江戸川区総合文化センター ホール	場 所 の 用 途	劇場
	構 造	鉄筋コンクリート・対火構造	内部の仕上げ	不燃材
解除の承認 を受けよう とする行為	種 類	喫煙・裸火使用・危険物品持込み		
	期 間	年 月 日から 年 月 日まで		
	理 由			
	内 容			
行 為 者	住 所			
	職 業			
	氏 名			
火災予防上 講じた措置	* 別途申請内容明細書のとおり			
※ 受 付 欄		※ 処 理 欄		

- 備考 1 申請者が法人の場合、氏名欄には、その名称及び代表者氏名を記入すること。
 2 解除の承認を受けようとする場所の詳細図及び当該場所付近の概要図を添付すること。
 3 行為者が2人以上の場合は、その所属、氏名等を記載した書類を添付すること。
 4 ※欄には、記入しないこと。

会場管理計画書

平成 年 月 日

江戸川区総合文化センター
館長殿

届出者(主催者)

住所

氏名

印

電話

下記の催事を開催するにあたり、会場管理計画を策定しましたので提出します。

使用施設	江戸川区総合文化センター ()
公演(催事)等の名称	定員()名
公演(催事)日及び期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
開演時間	① 時 分 ~ ② 時 分 ~ ③ 時 分 ~

1. 任務内容

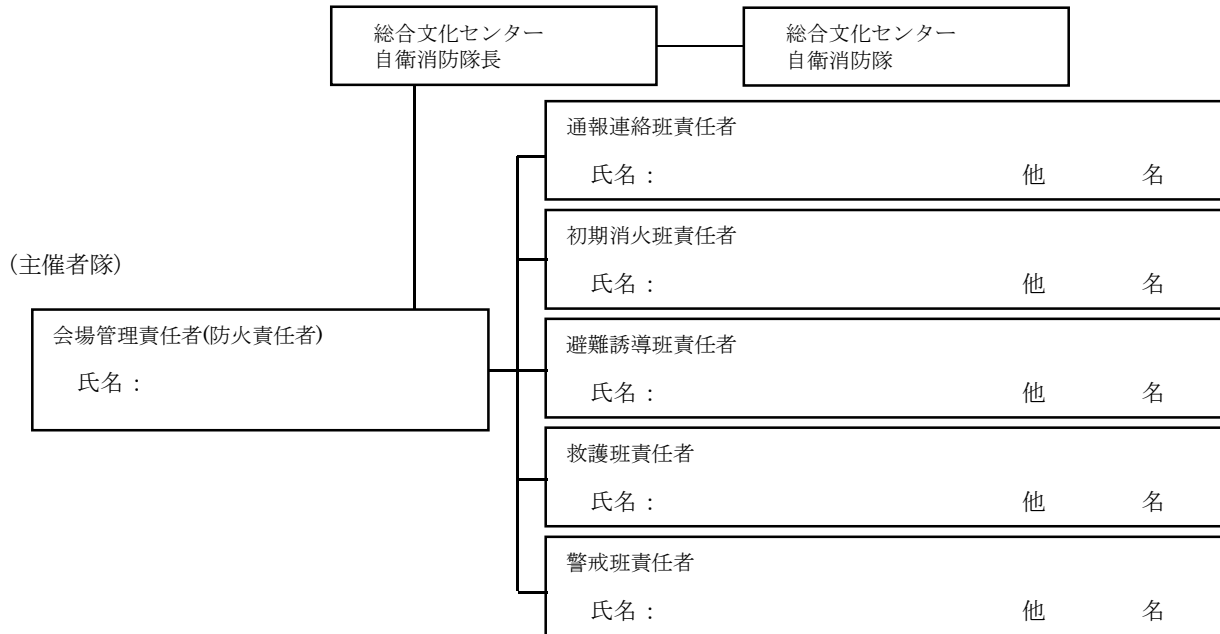
火災 予防 措置	危険物品の持込み及び舞台での裸火の使用、喫煙行為を行なう場合は、江戸川消防署長の承認を受け、承認条件を遵守する。
	客席において喫煙、裸火の使用等危険な行為を発見した場合は、担当者により制止させる。
	火を使用する設備、器具、その他危険物品の安全管理を徹底する。
	舞台で使用する大道具の合板・暗幕・スクリーン等は、防災処理されたものを使用する。
	消防用設備等(消火器・スプリンクラー・屋内消火栓・誘導灯など)の設置場所と使用方法を事前に確認するとともに、作動または使用の障害となる行為は行わない。
通報	消防用設備等(消火器・スプリンクラー・屋内消火栓・誘導灯など)の機能停止、または支障をきたす場合は、事前に届け出を行う。(江戸川消防署への届け出を含む)
	災害発生時等の総合文化センター担当者及び管理事務所への連絡要領を事前に確認する。 災害発生時は総合文化センター担当者及び管理事務所へただちに連絡し、消防署へ通報する。
初期 消火	消火担当者を指定し、消火器・屋内消火栓等、消防設備の設置場所と操作方法を事前に確認する。
	火災発生時はただちに初期消火を行い、備え付け消防設備による消火活動を行なう。
避難 誘導	入場券は客席に応じた数を超過して販売しない。また、定員を超過して入場させない。
	避難口・階段・通路等は、安全に避難ができるよう幅員を管理する。
	避難誘導担当者を指定し、避難誘導の方法について事前に確認する。
	主要な出入口や階段及び混雑が予想される場所を優先し、各所に避難誘導係員を配置する。 災害が発生した場合は、身体障害者等の災害弱者を優先して避難させる。 避難誘導の際は、放送設備等を使用し、安全な出口、階段により建物外へ避難誘導をする。
救護	病人・けが人が発生した時は、応急処置を行い、総合文化センター担当者へただちに連絡する。
警戒	不審な点を確認した場合は、総合文化センター担当者へただちに連絡する。

備考	通報、初期消火、避難誘導については、事前に訓練又は指導を実施する。
	災害発生時は、総合文化センターの自衛消防隊との連絡により活動する。
	その他必要事項については、総合文化センター担当者の指示に従う。
	特記事項：本番終了後、排煙を実施する。

2. 事前訓練(又は指導)の実施日時

年	月	日	:	~
---	---	---	---	---

3. 会場管理体制(主催者隊の編成)



4. 防火戸の開放及び避難口誘導灯の消灯

主催者は、催事の運営上やむなく、常時閉鎖している会場の防火戸を開放して使用する場合や、会場の避難口誘導灯を消灯する場合、その理由と日時等を明記すること。

防火戸の開放	開放日	年 月 日 ~ 年 月 日
	開放時間	: ~ :
	理由	※開放する防火戸には係員を配置する。
誘導灯の消灯	消灯場所	
	消灯日 ・ 消灯時間	年 月 日 ~ 年 月 日 : ~ :
	理由	

第2号様式（第8条関係）

禁止行為の解除承認申請書

① 年 月 日

東京消防庁

② 消防署長 殿

申請者 ③

住 所

電話 ()

氏 名 ㊦

火災予防条例第23条第1項の規定による指定場所における禁止行為について、解除の承認を受けたいので下記により申請します。

防 火 対 象 物	所 在 地	④ 電話 ()		
	名 称	⑤	用 途	⑥
	関係者住所	_____		
	氏 名	_____ ⑦ _____		
解除の承認 を受けよう とする場所	階	⑧	階 の 用 途	⑧
	名 称	⑨	場 所 の 用 途	⑩
	構 造	⑪	内 部 の 仕 上 げ	⑫
解除の承認 を受けよう とする行為	種 類	⑬ 喫煙・裸火使用・危険物品持込み		
	期 間	⑭ 年 月 日から 年 月 日まで		
	理 由	⑮		
	内 容	⑯		
行 為 者	住 所	_____		
	職 業	_____ ⑰ _____		
	氏 名	_____		
火災予防上 講じた措置	⑱			
※ 受 付 欄		※ 処 理 欄		

- 備考 1 申請者が法人の場合、氏名欄には、その名称及び代表者氏名を記入すること。
 2 解除の承認を受けようとする場所の詳細図及び当該場所付近の概要図を添付すること。
 3 行為者が2人以上の場合は、その所属、氏名等を記載した書類を添付すること。
 4 ※欄には、記入しないこと。

【禁止行為の解除承認申請書記入要領】

項 目		記 入 要 領
①年	月 日	消防署に申請書を提出する年月日を記入します。
②宛	先	防火対象物（建物）を管轄する消防署長宛とします。
③申	請 者	禁止行為を行う指定場所を有する防火対象物（建物）の所有者・防火管理者等責任が明確な者の、住所、氏名、電話番号を記入し、押印します。余白に連絡先の電話番号を記入して下さい。（法人の場合は、法人の住所、名称及び代表者の職・氏名・電話番号を記入し、押印します。）
防火対象物	④所 在 地	禁止行為を行う指定場所を有する防火対象物（建物）の所在地及び電話番号を記入します。
	⑤名 称	防火対象物（建物）の名称を記入します。例：〇〇ビル
	⑥用 途	防火対象物（建物）全体の用途を記入します。 例：劇場・ホテル・飲食店・スタジオ・展示場・百貨店・複合用途（用途が混在している建物）等
	⑦関係者住所氏名	防火対象物（建物）の責任者（社長・店長等）の住所及び氏名を記入します。
解除承認を受けようとする場所	⑧階 階 の 用 途	申請場所の階及び用途を記入します。
	⑨名 称	防火対象物（建物）内のどこの場所であるか特定できる名称等を記入します。
	⑩場 所 の 用 途	申請場所の実態用途を記入します。 例：舞台、大道具室、売場、加工場等
	⑪構 造	申請する防火対象物（建物）の構造を記入します。 例：鉄筋コンクリート造・鉄骨造・木造
	⑫内部の仕上げ	申請場所の内部仕上げ 例：不燃仕上・準不燃仕上
解除承認を受けようとする行為	⑬種 類	解除承認を必要とする禁止行為の種類を○で囲みます。
	⑭期 間	解除承認を必要とする期間を記入します。 恒常的な行為で期間のない場合は、開始日のみ記入します。
	⑮理 由	解除承認を必要とする理由を具体的に記入します。 例：演劇の演出効果をあげる為・客に対するサービスの為
	⑯内 容	行為内容を具体的に簡記します。 内容が複雑なものは別紙等に記載します。 例：第2幕で火薬（〇〇）を使用し、爆発音を出す。
	⑰住 所 ・ 職 業 名 氏	行為者が複数いる場合は、行為者の代表者を記入します。
⑱火 災 予 防 上 講 じ た 措 置	解除承認を受けようとする行為に対して火災予防上講じた内容を記入します。内容の多いものは、別紙等に記載します。 例：消火器（〇型）〇本と消火係〇名を舞台両袖に配置する。 自衛消防隊が屋内消火栓のホースを延長し、待機する。 不燃材を床に敷く。	

【申請内容明細書記入要領】

項 目	記 入 要 領
①申 請 場 所	<p>申請場所を記入すること。 例：地下1階東側（食品売場） 地下1階惣菜加工場 1階舞台</p>
②責 任 者	<p>申請内容に係わる責任者が申請内容を確認し、署名すること。 例：2階フローア一長 ○○一男 ○○劇団 団長 ○○三郎</p>
③防 火 管 理 者	<p>防火管理者が申請内容を確認し、署名すること。</p>
④概 要	<p>行為の概要（使用場所・使用場面・申請理由等）について記入すること。 例：惣菜加工場において、食品加工のため、ガスフライヤーを使用する。 第2幕第3場（開幕から15分後）の戦場の場面で、演出効果のため、音玉の消費を行う。</p>
⑤内 容	<p>行為の種類及び具体的な内容（禁止行為の名称、使用量、成分、性状、取扱要領等）について記入すること。 火気使用設備器具は熱源により、最大消費熱量（ワット数）等を、炎については炎の長さを、危険物品の場合は品名、数量等を記入するほか、取扱要領等について簡記すること。 例： ア 百貨店等の場合 ●裸火使用 ガスフライヤー ○kW ガスレンジ ○kW 簡易湯沸設備 ○kW 計 ○kW ●危険物品持込み 天ぷら油 ○ℓ イ 劇場の場合 ●裸火使用●危険物品持込み 火薬成分：マグネシウム 薬量：○g×○発 点火方法：電気点火（遠隔操作）</p>
⑥行 為 者	<p>禁止行為ごとに行行為者の職・氏名又は行為を担当する者を記入すること。 例：○○劇団員 ○○太郎 ○○他、○○惣菜加工場従業員</p>
⑦補 足 事 項 等	<p>添付図面、性能等に関する資料及び補足すべき内容について記入すること。 例：禁止行為実施場所付近の詳細は別添え図面のとおり。 煙火の構造詳細と性状は別添え資料のとおり。 火薬は、○○製の容器に入れて施錠し、車中に保管する。 火薬は、担当者（○○次郎（□□特殊効果社員））以外は取り扱わない。</p>
⑧火 災 予 防 上 講 じ た 措 置	<p>□欄は、該当するものにレ印を記入するとともに、アンダーライン部分には、該当する内容を記入すること。 例：□消火器の設置（○本 位置：舞台上手及び下手（別添え図面のとおり。）） □承認行為のチェック（実施者：防火管理者 時期：毎月初め） □その他（上演中は、常時舞台監督が舞台袖から監視する。）</p>

会場管理計画書

平成 29年 4月 3日

江戸川区総合文化センター
館長殿

文化センターへの提出日

届出者(主催者)

必要に応じて団体名

住所 東京都〇〇区〇〇 〇-〇-〇

株式会社〇〇

代表者でなくとも可

氏名 責任者氏名

電話 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

責任者
印
印

下記の催事を開催するにあたり、会場管理計画を策定しましたので提出します。

使用施設	江戸川区総合文化センター (大ホール)
公演(催事)等の名称	スプリングダンスフェスティバル 定員(1,446 名)
公演(催事)日及び期間	平成 29年 4月 22日 ~ 平成 年 月 日
開演時間	① 15時00分~ ② 時 分~ ③ 時 分~

1. 任務内容

火災 予防 措置	危険物品の持込み及び舞台での裸火の使用、喫煙行為を行なう場合は、江戸川消防署長の承認を受け、承認条件を遵守する。
	客席において喫煙、裸火の使用等危険な行為を発見した場合は、担当者により制止させる。
	火を使用する設備、器具、その他危険物品の安全管理を徹底する。
	舞台上で使用する大道具の合板・暗幕・スクリーン等は、防災処理されたものを使用する。
	消防用設備等(消火器・スプリンクラー・屋内消火栓・誘導灯など)の設置場所と使用方法を事前に確認するとともに、作動または使用の障害となる行為は行わない。
通報	消防用設備等(消火器・スプリンクラー・屋内消火栓・誘導灯など)の機能停止、または支障をきたす場合は、事前に届け出を行う。(江戸川消防署への届け出を含む)
	災害発生時等の総合文化センター担当者及び管理事務所への連絡要領を事前に確認する。 災害発生時は総合文化センター担当者及び管理事務所へただちに連絡し、消防署へ通報する。
初期 消火	消火担当者を指定し、消火器・屋内消火栓等、消防設備の設置場所と操作方法を事前に確認する。
	火災発生時はただちに初期消火を行い、備え付け消防設備による消火活動を行なう。
避難 誘導	入場券は客席に応じた数を超えて販売しない。また、定員を超えて入場させない。
	避難口・階段・通路等は、安全に避難ができるよう幅員を管理する。
	避難誘導担当者を指定し、避難誘導の方法について事前に確認する。
	主要な出入口や階段及び混雑が予想される場所を優先し、各所に避難誘導係員を配置する。 災害が発生した場合は、身体障害者等の災害弱者を優先して避難させる。 避難誘導の際は、放送設備等を使用し、安全な出口、階段により建物外へ避難誘導をする。
救護	病人・けが人が発生した時は、応急処置を行い、総合文化センター担当者へただちに連絡する。
警戒	不審な点を確認した場合は、総合文化センター担当者へただちに連絡する。

備考	通報、初期消火、避難誘導については、事前に訓練又は指導を実施する。
	災害発生時は、総合文化センターの自衛消防隊との連
	その他必要事項については、総合文化センター担当者
	特記事項：本番終了後、排煙を実施する。

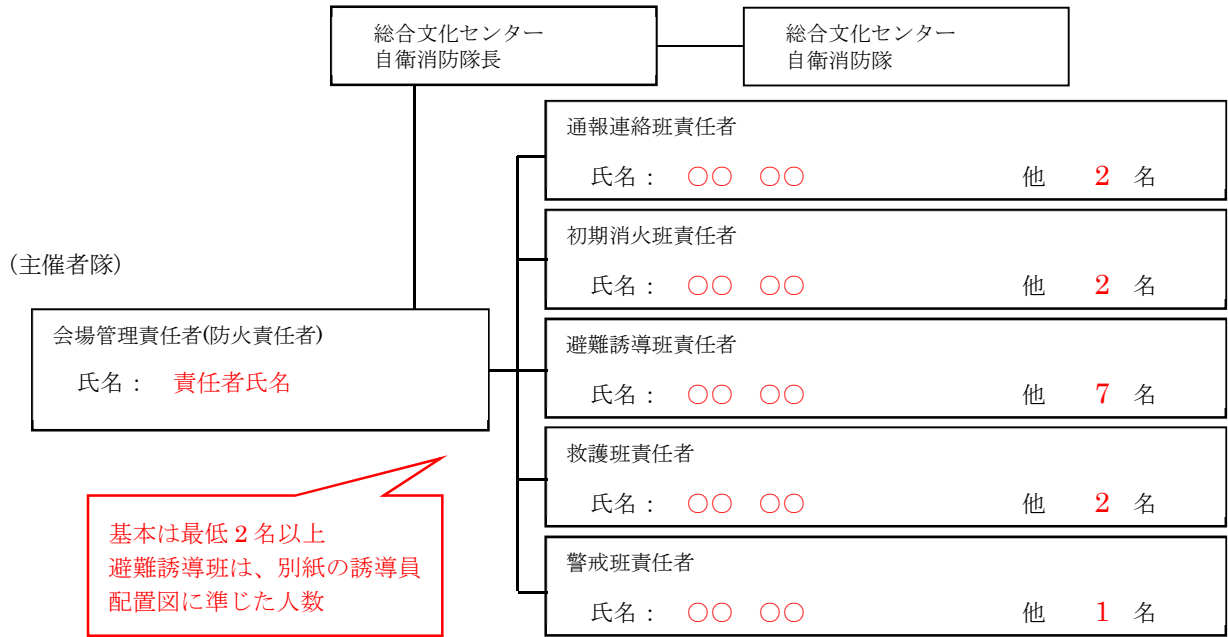
裸火の場合は二重線で消し「非常時には裸火の停止措置をする」と記入する。その他の場合も、非常時や利用後の処置をできる限り記入する。

2. 事前訓練(又は指導)の実施日時

2017年 4月 22日 12:00 ~

主催の行う訓練のこと(必須)
当日又は前日など

3. 会場管理体制(主催者隊の編成)



基本は最低2名以上
避難誘導班は、別紙の誘導員
配置図に準じた人数

4. 防火戸の開放及び避難口誘導灯の消灯

主催者は、催事の運営上やむなく、常時閉鎖している会場の防火戸を開放して使用する場合や、会場の避難口誘導灯を消灯する場合、その理由と日時等を明記すること。

防火戸の開放	開放日	2017年 4月 22日 ~ 年 月 日
	開放時間	10:00 ~ 18:00
	理由	公演準備から公演終了後まで出演者等の出入りが多いため ※開放する防火戸には係員を配置する。
誘導灯の消灯	消灯場所	ホール客席
	消灯日	2017年 4月 22日 ~ 年 月 日
	消灯時間	15:00 ~ 16:30
	理由	演出効果を高めるため公演中のみ消灯

必要最低限の時間

必要最低限の時間